THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January 2016 and 5th June 2016)

ヨーロッパ初参戦となったイスパーン賞(G1) で圧倒的なパフォーマンスを見せた**エイシンヒカリ【129】**が、第 4 回ロンジンワールドベストレースホースランキングでトップの座に立った。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings

Leading Horses

Rank	Horse	Rating	Trained
1	**A SHIN HIKARI (JPN)**	**129**	JPN
2	**CALIFORNIA CHROME (USA)**	**126**	USA
2	**WINX (AUS)**	**126**	AUS
4	**MAURICE (JPN)**	**124**	JPN
4	**NYQUIST (USA)**	**124**	USA
4	**POSTPONED (IRE)**	**124**	GB
4	**WERTHER (NZ)**	**124**	HK

エイシンヒカリは今季初戦となったイスパーン賞では、**ダリヤン**に大差をつける圧巻のパフォーマンスを見せた。**ディープインパクト**産駒である同馬は、香港カップ(G1)を1馬身差で制し、昨シーズンを終えていた。今年、同馬の陣営は海外遠征に矛先を向けており、次走はロイヤルアスコット開催のプリンスオブウェールズステークス(G1)の予定である。

アイルランドでは**ファッシネイティングロック【123】**が、タタソールズゴールドカップ(G1)で**ファウンド**に3馬身3/4差をつける力強いパフォーマンスを見せ、制している。**ファッシネイティングロック**は、過去3走いずれも**ファウンド**と対戦しており、5月のムーアズブリッジステークス(G3)では3着に敗れたものの、昨年10月の英チャンピオンステークス(G1)では同馬を降している。

8位タイで**ファッシネイティングロック**と並んだのが、英ダービー(G1)の優勝馬**ハーザンド【123】**である。この競走がG1初挑戦となった同馬であるが、**ユーエスアーミーレンジャー【120】**を1馬身1/2差で降し、今年は3戦3勝である。同馬の父は、2009年に英ダービーも制し、その後同年のランキングトップとなった**シーザスターズ**である。

過去1ヶ月で目覚ましい活躍を見せた3歳馬は**ハーザンド**だけではない。**エグザジャレイター【122】**は、ケンタッキーダービー(G1)では**ナイキスト【124】**の2着に敗れたが、プリークネスステークス(G1)では同馬を降し、レーティングを上げた。このレースで**ナイキスト**は2着の**チェリーワイン**とはハナ差の3着に敗れ、デビュー以来、初黒星を喫することとなった。**エグザジャレイター**は4月のサンタアニタダービー(G1)を6馬身1/4差で制しており、今週土曜日のベルモントステークス(G1)の最有力候補である。

東京優駿（日本ダービー）(G1)では、**マカヒキ【121】**が**サトノダイヤモンド【120】**を接戦の末、ハナ差降した。

愛2000ギニー(G1)では、**オウタード【120】**が英2000ギニー(G1)の優勝馬**ガリレオゴールド【120】**を2馬身1/2差で降している。また翌日に施行された愛1000ギニー(G1)では、**ジェットセッティング【120】**が英1000ギニー(G1)の優勝馬**マインディング【120】**をアタマ差で破っている。その**マインディング**は、次走の英オークス(G1)では馬群を捌くのに手間取り

ながらも、見事に制した。またフランスでは、**ザグルカ【120】**が仏 2000 ギニー(G1)で 5 馬身 1/2 差をつけ圧勝した。

一方、4 歳馬**タイムテスト【121】**が 2016 年初戦となったブリガディアジェラードステークス(G3)を制して、今年もランクインすることとなった。